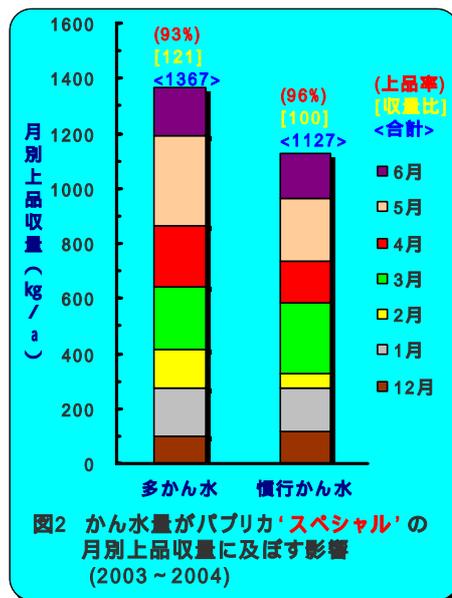
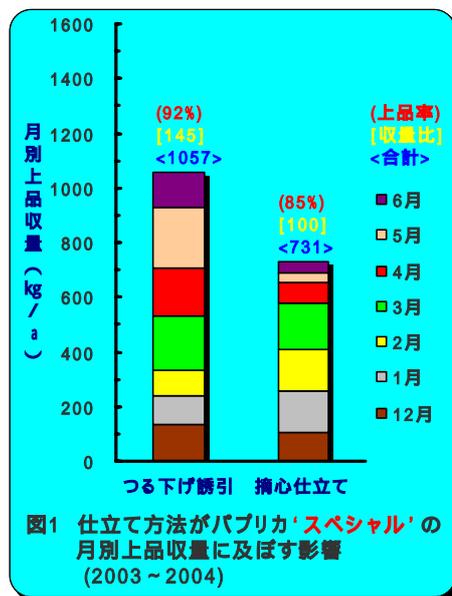


つる下げ誘引仕立てによるパプリカの土耕栽培



当センターでは、パプリカの養液栽培において、軒高の低いハウスでも、主枝を摘心しないつる下げ誘引仕立てと、密植(370株/a)により、スペシャル(赤色品種)で16 t /10a、フィエスタ(黄色品種)では20 t /10aの収量が得られる技術を開発しました。現在、この技術を応用した土耕栽培での多収穫技術について検討しています。

土耕栽培においても、つる下げ誘引仕立てでは、慣行の摘心仕立てより上品収量が45%も多くなります。さらに、うね幅180cm、株間15cmに密植して、かん水量を慣行の1.5倍量とすると、上品収量は21%も多くなることが分かりました。

今後は、育苗の省力化を図るためのセル苗の利用技術についても検討する予定です。
(施設野菜科 山本 正志 088-863-4918)